Author 大出、敦(Ode, Atsushi) Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2020 Jititle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) Abstract 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) Abstract 本研究は、1921年から1927年まで日本に駐日フランス大使として滞在した劇作家のボール・クローデルの滞日時の資料を収集し、アーカイヴ化することを目的としている。現在までにフランスと日本の外交史料館に残されている資料のコピー、当時の「東京朝日新聞」「読売新聞」「東京日日新聞」などの主要新聞、各地の地方新聞の新聞記事、雑誌記事、クローデルの日記、書簡は、コピーの形で収集したが、データ化をしてかって、今年度はこれらの資料をデータ化しても作業を行った。2016年12月と2018年6月に公演されたボール・クローデル作選号で募出「編子の軽」。の配録映像の編集と1988年分末のベル・クローデル作選号で募出「編子の軽」。の配録映像の編集を1988年分末のベル・クローデル作理とで分っる。のデジタル映像の保存などを行った。これらの資料と新たに収集した資料等をもとに2018年5月19日から7月16日まで県立神奈川近代文学館で開催された「生誕150年記を行った。また「詩人大使の創作を支えた山内義雄ノのへ情報提供を行い、同展の図版カタログの編集を行った。研究の成果発表としては、「詩人大使ボール・クローデルと日本展」への情報提供を行い、同屋の図版カタログの編集を行った。研究の成果発表としては、ボル・クローデルと日本の義雄」と題したトークセッションでは、クローデルと山内義雄の交流と山内義雄グローデルの日本理解の大きな助けになっていたことを明らかにした。研究の成果発表としては、ボル・クローデルと日本で、の責任主幹となり、「自然と隠喩――ボール・クローデルと日本で、自然の影響を対象した。また11月3日4日に日仏会館で行われた「ボール・クローデルと日本」などの記事を執筆した。また11月3日4日に日仏会館で行われた「ボール・クローデルと日本」などの記事を執筆した。また11月3日4日に日仏会館で行われた「ボール・クローデルと日本文の」を観しまが表示されて、「自然の関係教育をして、自己の文学観に取り込んだことを明らかにした。 The purpose of this study is to collect and archive materials of Paul Claudel who stayed in Japan as a French ambassador from 1921 to 1927. Copy of materials held by France and Japan diplomatic archives, articles of major newspapers such as Tokyo Asahi Shimbun, Yomiuri Shimbun and Tokyo Nichi-nichi Shimbun, articles of local newspapers, Claudel Diaries and letters were collected in the form of copies, but they were not digitized, so we worked on digitizing these materials this year. At the same time, we collected new materials and edited the video of Claudel's works, Le Soulier de satin (2016 and 2018) and Partage de mid (1988). We added newly collected material to these materials. We provided information to the Exhibition "The 150th Birthday Poet Ambassador Paul Claudel and the Japan" held from May 19 to July 16, 2018 at the Kanagawa Museum of Modern Literature and edited the illustration catalog of the exhibition. Also, in the talk session entitled "Yoshio Yamanouchi supported the creation of the Poet Ambassador", it was		tory of Academic resouces					
Author 大出、敦(Ode, Atsushi) Publisher 慶應義政大学 Publication year 2020	Title	滞日期のポール・クローデル関係資料のデジタル・アーカイヴ化とその総合的研究					
Publisher 慶應義塾大学 2020 2020 2021 2021 2021 2021 2022 2022 2022 2022 2022 2022 2022 2022 2023 2024	Sub Title	Digital archiving of Paul Claudel's materials during his stay in Japan and its research					
Publication year 2020	Author						
Jatic DOI Abstract Active Ac	Publisher	慶應義塾大学					
Abstract Abstract Adstract Advisor A	Publication year	2020					
本研究は、1921年から1927年まで日本に駐日フランス大使として滞在した劇作家のボール・クローデルの滞日時の資料を収集し、アーカイブ化することを目的としている。現在までにフランスと日本の外交史料館に残されている資料の1世〜、当時の「東京朝日前園」「読売新聞」で東京日日新聞」などの主要新聞、各地の地方新聞の新聞記事、雑誌記事、クローデルの日記、書簡は、コピーの形で収集したが、データ化をしていなかったので、今年度はこれらの資料をデータ化する作業を行った。同時に新たな資料の収集と、クローデル作品の上演の映像を編集・加工する作業を行った。2016年12月と2018年6月に公演されたボール・クローデル作選連守章漢世「編子の牝」の記録映像の編集と1988年公演のボール・クローデル作選連で章漢世「編子の牝」の記録映像の編集を1988年公演のボール・クローデル作選連で章漢世「編子の牝」の記録映像の編集を1988年公演のボール・クローデル作選連で章漢世「編子の牝」の記録映像の編集を1988年公演のボール・クローデル作選連で章漢世「編子の牝」の記録映像の保存などを行った。これらの資料と新たに収集した資料等をもとに2018年5月19日から7月16日まで県立神奈川近代文学館で開催された「生誕150年記念詩人大使ボール・クローデルと日本連の、小情報提佐ぞ行い、同屋の図版カタログの編集作業を行った。また19人大使の制作を支えた山内義雄の大きな助けになっていたことを明らかにした。「静入大使の制作を支えた山内義雄の大きな助けになっていたことを明らかにした。「静入大使の上でルの日本理解の大きな助けになっていたことを明らかにした。ノローデルと日本理解した。また11月3日4日日仏会館で行われた「ポール・プローデルを日本文化」と題する講演を行い、クローデルと日本の詩」、「さらば、日本」とどの記事を執筆した。また11月3日4日日仏会館で行われた「ポール・フローデルを日本文化」と題する講演を行い、クローデルが日本の「もののあわれ」に独自の解釈をして自己の文学観に取り込んだことを明らかにした。 The purpose of this study is to collect and archive materials of Paul Claudel who stayed in Japan as a French ambassador from 1921 to 1927. Copy of materials held by France and Japan diplomatic archives, articles of major newspapers such as Tokyo Asahi Shimbun, Yomiuri Shimbun and Tokyo Nichi-inichi Shimbun, articles of local newspapers, Claudel Diaries and letters were collected in the form of copies, but they were not digitized, so we worked on digitizing these materials this year. At the same time, we collected new materials and edited the video of Claudel's works, Le Soulier de satin (2016 and 2018) and Partage de midi (1988). We added newly collected material to these materials. We provided information to the Exhibition "The 150th Birthday Poet Ambassador Paul Claudel and He Japan" held from May 19 to July 16, 2018 at the Kanagawa Museum of Modern Literature and edited the illustration catalog of the exhibition. Also, in the talk session entitled "Yoshio Yamanouchi supported the creation of the Post Ambassador," it was revealed that the interaction between Claudel and Voshio Yamanouchi is a great help for Claudel's understanding o	Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)					
ーデルの滞日時の資料を収集し、アーカイツ化することを目的としている。現在までにフランスと日本の外交史料館に残されている資料のコピー、当時の「東京朝日新聞」「読売新聞」「東京日日新聞」などの主要新聞、各地の地方新聞の新聞記事、雑誌記事、クローデルの日記、書簡は、コピーの形で収集したが、データ化をしていなかったので、今年度はこれらの資料をデータ化する作業を行った。同時に新たな資料の収集と、クローデル作品の上演の映像を編集・加工する作業を行った。2016年12月と2018年6月に公演されたボール・クローデル作渡邊守章演出の『真昼に分かつ』のデジタル映像の解集と1988年公演のボール・クローデル作渡邊守章演出の『真昼に分かつ』のデジタル映像の保存などを行った。こちらの資料と新たに収集した資料等をもとに2018年5月19日から7月16日まで県立神奈川近代文学館で開催された「生誕150年記念詩人大使ボール・クローデルと日本展」への情報提供を行い、同屋の図版カタログの編集作業を行った。また「詩人大使の創作を支えた山内義雄」と題したトークセッションでは、クローデルと山内義雄の交流と山内義雄がクローデルの日本理解の大きな助けになっていたことを明らかにした。研究の成果発表としては、「詩人大使ボール・クローデルと日本』の責任主幹とは、「自然と隠喩――ボール・クローデルと日本の詩」、「さらば、日本」などの記事を執筆した。また11月3日4日に日仏会館で行われた「ボール・クローデル生経150年記念シンボジウムボール・クローデルの日本」で「ものの『ちあ仕』を求めて――ボール・クローデルと日本文は、と題する講演を行い、クローデルが日本の「もののあわれ」に独自の解釈をして、自己の文学観に取り込んだことを明らかにした。The purpose of this study is to collect and archive materials of Paul Claudel who stayed in Japan as a French ambassador from 1921 to 1927. Copy of materials held by France and Japan diplomatic archives, articles of major newspapers such as Tokyo Asahi Shimbun, Yomiuri Shimbun and Tokyo Nichi-nichi Shimbun, articles of local newspapers, Claudel Diaries and letters were collected in the form of copies, but they were not digitized, so we worked on digitizing these materials this year. At the same time, we collected new materials and edited the video of Claudel's works, Le Soulier de satin (2016 and 2018) and Partage de mid (1988). We added newly collected material to these materials. We provided information to the Exhibition The 150th Birthday Poet Ambassador Paul Claudel and the Japan" held from May 19 to July 16, 2018 at the Kanagawa Museum of Modern Literature and edited the illustration catalog of the exhibition 'Poet Ambassador Paul Claudel's Vapan, 'Washa Sayara and "Ausus-Claudel and Japanese Poetry" etc. Also, at 'The Paul Claudel's Japan, 'Which was held at the Maison franco-japonaise on November 3, 2018, I gave a lecture on Claudel and Japanese Culture entitited "A la recherche de la Ahité Claudel et la culture japonaise".	JaLC DOI						
Genre Research Paper		一デルの滞日時の資料を収集し、アーカイヴ化することを目的としている。現在までにフランスと日本の外交史料館に残されている資料のコピー、当時の「東京朝日新聞」「読売新聞」「東京日 新聞」などの主要新聞、各地の地方新聞の新聞記事、雑誌記事、クローデルの日記、書簡は、コピーの形で収集したが、データ化をしていなかったので、今年度はこれらの資料をデータ化する作業を行った。同時に新たな資料の収集と、クローデル作品の上演の映像を編集・加工する作業を行った。同時に新たな資料の収集と、クローデル作品の上演の映像を編集・加工する作業を行った。同時に新たな資料の収集と、クローデル作品の上演の映像を編集・加工する作業を行った。これらの資料と新たに収集した資料等をもとに2018年5月19日から7月16日まで県立神奈川近代文学館で開催された「生誕150年記念詩人大使ボール・クローデルと日本展」への情報提供を行いた。同展の図版カタログの編集作業を行った。また「詩人大使の創作を支えた山内義雄の交流と山内義雄がクローデルと日本展」への情報提供を行い、同展の図版カタログの編集作業を行った。また「詩人人使の創作を支えた山内義雄の交流と山内義雄がクローデルの日本理解の大きな助けになっていたことを明らかにした。研究の成果発表としては、『詩人大使ボール・クローデルと日本、リ、「自然と隠喩――ボール・クローデルの日本理解」、「ヤヌスの双頭――クローデルと日本の時」、「さらば、日本」などの記事を執筆した。また11月3日4日に日仏会館で行われた「ボール・クローデル生誕150年記念シンボジウムボール・クローデルの日本文化」と題する講演を行い、クローデルが日本の「もののあわれ」に独自の解釈をして、自己の文学観に取り込んだことを明らかにした。The purpose of this study is to collect and archive materials of Paul Claudel who stayed in Japan as a French ambassador from 1921 to 1927. Copy of materials held by France and Japan diplomatic archives, articles of major newspapers such as Tokyo Asahi Shimbun, Yomiuri Shimbun and Tokyo Nichi-nichi Shimbun, articles of local newspapers, Claudel Diaries and letters were collected in the form of copies, but they were not digitized, so we worked on digitizing these materials this year. At the same time, we collected new materials and edited the video of Claudel's works, Le Soulier de satin (2016 and 2018) and Partage de midi (1988). We added newly collected material to these materials. We provided information to the Exhibition "The 150th Brithday Poet Ambassador Paul Claudel and the Japan" held from May 19 to July 16, 2018 at the Kanagawa Museum of Modern Literature and edited the illustration catalog of the exhibition "Poet Ambassador", it was revealed that the interaction between Claudel and Yoshio Yamanouchi is a great help for Claudel's understanding of Japan" and "Janus -Claudel and Japanese Poetry" etc. Also, at "The Paul Claudel's Understanding of Japan" and "Janus -Claudel and Japanese Poetry" etc. Also, at "The Paul Claudel's Understanding of Japan" and "Janus -C					
	Notes						
URL https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180076	Genre	Research Paper					
	URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180076					

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2018 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	- 補助額	300 (/	A) 1 ∣	bracket
	氏名	大出 敦	氏名 (英語)	Atsushi ODE		300 (A)	A) T]

研究課題 (日本語)

滞日期のポール・クローデル関係資料のデジタル・アーカイヴ化とその総合的研究

研究課題 (英訳)

Digital archiving of Paul Claudel's materials during his stay in Japan and its research

1. 研究成果実績の概要

本研究は、1921 年から 1927 年まで日本に駐日フランス大使として滞在した劇作家のポール・クローデルの滞日時の資料を収集し、アーカイヴ化することを目的としている。現在までにフランスと日本の外交史料館に残されている資料のコピー、当時の「東京朝日新聞」「読売新聞」「東京日日新聞」などの主要新聞、各地の地方新聞の新聞記事、雑誌記事、クローデルの日記、書簡は、コピーの形で収集したが、データ化をしていなかったので、今年度はこれらの資料をデータ化する作業を行った。同時に新たな資料の収集と、クローデル作品の上演の映像を編集・加工する作業を行った。2016 年 12 月と 2018 年 6 月に公演されたポール・クローデル作渡邊守章演出『繻子の靴』の記録映像の編集と 1988 年公演のポール・クローデル作渡邊守章演出の『真昼に分かつ』のデジタル映像の保存などを行った。これらの資料と新たに収集した資料等をもとに 2018 年 5 月 19 日から 7 月 16 日まで県立神奈川近代文学館で開催された「生誕 150 年記念詩人大使ポール・クローデルと日本展」への情報提供を行い、同展の図版カタログの編集作業を行った。また「詩人大使の創作を支えた山内義雄」と題したトークセッションでは、クローデルと山内義雄の交流と山内義雄がクローデルの日本理解の大きな助けになっていたことを明らかにした。研究の成果発表としては、『詩人大使ポール・クローデルと日本』の責任主幹となり、「自然と隠喩―ポール・クローデルの日本理解」、「ヤヌスの双頭―クローデルと日本の詩」、「さらば、日本」などの記事を執筆した。また 11 月 3 日 4 日に日仏会館で行われた「ポール・クローデル生誕 150 年記念シンポジウム ポール・クローデルの日本」で「ものの『ああ性』を求めて―ポール・クローデルと日本文化」と題する講演を行い、クローデルが日本の「もののあわれ」に独自の解釈をして、自己の文学観に取り込んだことを明らかにした。

2. 研究成果実績の概要(英訳)

The purpose of this study is to collect and archive materials of Paul Claudel who stayed in Japan as a French ambassador from 1921 to 1927. Copy of materials held by France and Japan diplomatic archives, articles of major newspapers such as Tokyo Asahi Shimbun, Yomiuri Shimbun and Tokyo Nichi-nichi Shimbun, articles of local newspapers, Claudel Diaries and letters were collected in the form of copies, but they were not digitized, so we worked on digitizing these materials this year. At the same time, we collected new materials and edited the video of Claudel's works, Le Soulier de satin (2016 and 2018) and Partage de midi (1988). We added newly collected material to these materials. We provided information to the Exhibition "The 150th Birthday Poet Ambassador Paul Claudel and the Japan" held from May 19 to July 16, 2018 at the Kanagawa Museum of Modern Literature and edited the illustration catalog of the exhibition. Also, in the talk session entitled "Yoshio Yamanouchi supported the creation of the Poet Ambassador", it was revealed that the interaction between Claudel and Yoshio Yamanouchi is a great help for Claudel's understanding of Japan. I was responsible for the illustration catalog of the exhibition "Poet Ambassador Paul Claudel and Japan", including my papers, "Nature and Metaphors-Paul Claudel's Understanding of Japan" and "Janus -Claudel and Japanese Poetry" etc. Also, at "The Paul Claudel's 150th Anniversary Symposium Paul Claudel's Japan," which was held at the Maison franco-japonaise on November 3, 2018, I gave a lecture on Claudel and Japanese Culture entitled "A la recherche de la Ahité Claudel et la culture japonaise".

3. 本研究課題に関する発表							
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)				
大出敦	自然と隠喩―ポール・クローデル の日本理解	『詩人大使ポール・クローデルと日本』	2018年5月				
大出敦	ヤヌスの双頭――クローデルと日本の詩	『詩人大使ポール・クローデルと日本』	2018年5月				
大出敦	さらば、日本	『詩人大使ポール・クローデルと日本』	2018年5月				
大出敦		ポール・クローデル生誕 150 年記 念シンポジウム ポール・クローデ ルの日本	2018年11月3日				